



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、この言話を聞いて、戦争について考えていたことを改めて考えさせられました。ぼくはもとと戦争について、兵士はなぜ、戦い、なぜ、なんのために敵を殺すのか？相手も同じ人間なのになぜ？殺そうと考えられるのか考えていましたがこの言話を聞き、改めて考えました。なぜ、日本は戦ったのか考えました。それでいきも人は残るので、それは、食料がないから、面積をと言て戦って手に入ってもそのきせいと面積はどのくらい不利に手に入れているかと思ひます。ぼくなら、武力ではなく貿易をして手に入れようと思ひます。お金がないなら、別のものとして手に入れようと思ひます。ぼくは不平等な条約を取り消すための戦いは認めませぬ、それ以外は認めませぬ。と考える様になりました。それにこの言話を聞いて日本は負けでよかったと思ひました。なぜなら、戦って死ぬことを決く考える日本ではなくなつたからです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

僕は、この授業を通して、原爆とはとても怖くて危険だということが分かりました。理由は、原爆の被爆者はみんな、皮膚がズルズルとくずれ落ち、そのくずれ落ちた人はみんな、痛みをたえ続けたからです。広島に投下された原爆「リトルボーイ」は、広島県産業奨励館を骨組みのみにしたもので、とてもい力があるのだとおどろきました。原爆は、表面温度は7000°で、太陽の表面温度より1000°高いというのがおどろきました。それが上から落ちてきたのは、今では考えられないくらい自分にとって、とても怖いと思いました。そして、広島市の人口が35万人、被爆者が24万人、死者数が14万人で、死亡率が40%というとても高い死亡率だったので、原爆は恐ろしいものだということが分かりました。原爆で死んでしまった人達がたくさんいるということをおぼろげに、これからは過ごして、こうと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕が原爆について聞いて思ったこと  
 とは、こんなに悲しくてひどいことが  
 実際にあつたんだなということ  
 であつた。原爆については前から知って  
 いたけど、こんなにひどく聞いたの  
 は初めてだったので、とてもおどろ  
 きました。おだやかで、いつも笑いの  
 日常が、原爆によってこぼされて  
 しまつた。なんて、とても信じられません。  
 そもそも戦争というのは、大人が  
 争つて始まつてしまつたもので、ただ暮しに  
 いるだけの何の関りもない人々を  
 大勢まきこんでやるべきもので  
 はないと思ひます。話し合ひで解  
 決できるはずのものをわざとわざと兵力  
 を使って争ひ、人々をまきこんで  
 しまつたから、こんなに悲しいことがあ  
 つたんだと思ひます。もう二度とこん  
 なことはおきてほしくないです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、原爆先生の授業を受講して思ったことが、いっぱいありました。たとえば、平和だった広島に「原爆」がおとされていきなり人がきえたり、すごいやけどをしたりと、今の広島(2021年)では、ありえないことが昔の広島(1945年)でおきていたというじじつがしんじられません。理由は、2つあります。1つ目は、今の日本では、外国となかがととてもよいのに、昔は、原爆をおとすほどなかがよくないということは、昔は、日本と外国がなかがよいとはとてもいえないということは、1945年から今まで日本はいろんなことが外国とあったというせとにびっくりしました。2つ目は、昔の外国は、原爆をなにもしていない人がおおぜいすんでいる場所にもおとして殺したというところにすごくびっくりしました。ぼくは、原爆でなくなった人々にごめいふくをもうしあげます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

私は原爆先生のお話を聞いてあらためて原爆のおそろしさを知りました。とくに心に残っている事が主に2つあります。1つめは皮肉がただれ落ちるというお話です。原爆を体験したとこない私には皮肉がただれ落ちるというのかどのようなことなのか全く想像できないので、原爆資料館にある人形を見せてもらったときはしよげきをうけました。そのような事がたになっても激痛にたえられしよげんめい生きようとしていて本当にすいなと思いました。2つめは、広島市での死者数が4万人にもおよんだことについてです。たった1回の原爆でこれだけの方々がなくなればほんとうにおどろきました。そして落とされて原爆がどれだけおそろしいものなのかわ知ろかけとなりました。今なにげなく生活しているこの平和な暮らしも特別授業を受講してからはおたげえではないと思えるようになりました。日々の暮らしに感謝はなくてはいけないなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今まで「原爆」というもののおそろしさを死んだ人の人数、死亡率などの情報や、東京大空襲があった広島や長崎に原爆が落とされたという歴史としてしか感じることがありませんでした。今日、1945年8月6日から9日の兵隊の方の経験を聞き、実際はそれ以上の「おそろしき、さんばなまのた、たのた」と思いました。原爆先生が爆発するときの音を再現してくれたとき、しっかりと「おそろしき」を感じました。実際に体験しているわけはないのに、今まで「感じることがないくらいのおそろしき」でした。実際に被爆した人たちが「おそろしき」おそろしき、たのたを考えると今の時代に産まれてよかったと思えました。おそろしきは自分が恵まれていることをよく考え得ていきたいです。被爆して亡くな、た方もなんとか生きのびた方も、これからの日本は平和であってほしいと願っているはずですよ。だから、原爆について99%の人が「知る必要がある」と思いました。家族や親戚などには原爆先生の特別授業のことを話したり、私自身も、理解を深める原爆の出来事か風化しな、てほしいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回の話は今まで書いて、読んだつした話の中で一番ゾクゾクとしました。国語の教科書で走つた子と母、そのイタい話はあるものの、兵士たちの体験とかはあまりのていません。なので兵士の、それも広島の原因はくすくすはにいた人たちの体験がきけ、その話にとてもおもしろい、自分もその状況にいたら...と、とてもこわくなりました。とくに、原はくすの温度が7000℃で、その表面積が高い、という話にとてもおもしろかったです。また、エラノゲイが4ヘット大のお母さんがあることにお母さんが本当にかわいそうだな、と思いました。私なら、お母さんはなにもしてないのに、とてもいやなこと、歴史に名前を残すのは絶対ないにいやです。いさい者の話にもむねかえらるるような気持ちになりました。この話をきいて、原はく資料館に行ってみようと思いました。







名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の授業を通して、改めて原爆の恐ろしさを学ぶことができました。池田義三さんが実際にかいた日記をとて感情を入れて読んでいて、とてもひきつけられました。今まで自分が想像していた広島原爆とは全く違い、実際の出来事を見る目で目の前で見せられているように感じ、原子爆弾の本当の怖さを身にしみを感じることができました。今、戦争を実際に体験したことのある人はかなり少なくなっており、若い人達は戦争の真の恐ろしさを知らない人達が増えているので、今回原爆先生から学んだことをいかれて、唯一、原爆の被害を受けた国だからこそ、もう二度と同じことをやらないといけないということを次の世代にも伝えていけるよう、私達が頑張らなければならぬんだと、実感しました。原爆の知られざる秘密を学ぶことができて、とても良い経験となりました！



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、お話を聞いて自分の予想をはるかに  
 こえるものでした。原爆のあつさが、太陽の表  
 面温度よりあつく、人々はひふがほかれたれ  
 ずが、本当に言葉で表せられないほどでした。  
 私は、このお話を聞き前よりも原爆の苦しめ  
 ばうきょうを理解しました。それでも私が原  
 爆が落ちる時代にいたら想像すると原爆の  
 こわさにふるえます。でもきっと私とはちがって  
 原爆について何も知らずいつもの生活の中に  
 原爆が落ちた人々は何がおきたのかも分からず  
 本当にこわかったと思います。このお話の主人公は  
 その中に生きていて本当にすごいと思います。  
 私だったら仕事をなげだしていたかもしれません。  
 でもいまなら、主人公の仕事をなげださなかつた気  
 持ちが少し分かります。私は、原爆について知る  
 ことはこわさを知ることだと思います。でもこの  
 こわさを知ったことによつていいことはおきたと思  
 います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私は戦争について理解をしているつもりでしたが、今回のお話を聞いていて全然知らないことばかりでした。

たくさんのお話を聞いていくうちに、改めて戦争のおそろしさを感じました。「2度と戦争をおこしてはいけない！」という思いもより強くなりました。

原爆は約100万度もあるということを初めて知りました。太陽の何百倍もの温度のものがとつぜん上から落ちてくると考えると不安やあせりが出てくるのも想像がつかず。

原爆がおとされてからも後遺症などで今も苦しんでいる人がいることを絶対に忘れてはいけないと思いました。

もう、2度とこのような戦争をおこさないためにもより多くの方が戦争のおそろしさを知り、伝えることが大切だと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

特別授業を受けて、改めてげんぱくはるわいの  
 先生のだし、乙度とや、ては、いけな、いことだ  
 と実感しました。原爆をしてなにも得られるも  
 のはない。うしろなうものは人の命だから、悲し  
 むことはや、ていけな、いと思いました。また、人どう  
 し仲良くすることで本当に大切なんだと思いました。  
 よしろうさんの生き方を見て、よしろうさんは、  
 ほくたちが言葉に表せられな、いほど、たくさ  
 んの苦勞をしてきたことがわかりました。原はく先  
 生の話をきくと、体験してないほくでも心  
 がいたくな、たけど、き、と原爆を体験したこ  
 とがあるよしろうさんは、ほくたちの何100倍も  
 心がいたくな、たり、おれさんの人たちの助け、の  
 声などのをきいて、すぐ責任を感じて、いたのだ  
 と思いました。4、5年生のとき戦争のべんきょうをし  
 たけど、今回の学習が、一番むねにく、とくるも  
 のがわかりました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12/20

私は原爆先生の特別授業を受講して、おどろくことがいくつもありました。私は広島や原爆ドームに行、たことが無く、広島<sup>の</sup>原爆についてあまり知りませんでした。原爆が投下されたときはとてもあつかったというのは知、ていたけれど、太陽もあつく、鉄がとけてしまうほどだった<sup>の</sup>を知、ておどろきました。また、当時の兵隊の方たちは死体の回集や焼却などの作業をしていたと知、兵隊の方たちはつらく、たいへんな思いをしていたのではないかと考えました。た、た一発の原爆で14万人も<sup>の</sup>人の命をうばったと知、り、やはり戦争はくりかえしてはいけないという<sup>こ</sup>ことを改めて実感しました。今、当時の戦争を体験した方たちが年々減少しています。戦争を二度とくりかえさないためにも、私たちのような若い人たちが戦争について知、り、伝えていくことが大切だ<sup>と</sup>いうことが特別授業を通して分かりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

お話を聞き、私はすごくこわかったです。友人  
に1人は亡くなっているの聞き、17人入で  
6~7人ほど亡くなっていると考えたので  
悲しいなと思います。最後に見たビデオ  
では、資料館にあったものについて「こんな  
に優しいものではないと泣きながら言っ  
て心が痛くなりました。資料館のものは  
私的にはすごく痛々しくこわかったのに  
これが優しいと言えるということはすごく  
衝撃的で苦しくつらかったのだと思うと  
平和ということがどれほど優しくすてきな  
ものであるかよく分かりました。二度と  
起きてはいけな事故だと思います。私は  
話を聞いたただけなのにすごくこわく思っ  
たので実際に体験した人達がどれほ  
どこわかったか分かりました。でもどれだ  
け痛く苦しめたのかは想像できませんでした。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

12/20

僕は特別授業を受講して心に残ったことが2つあります。

1つ目は、原子爆弾の恐ろしさです。原子爆弾は、熱線、衝撃波、放射線の被害があり、特に放射線について驚きました。放射線といえば、福島原子力発電所の事故で流出したことで有名ですが、原子爆弾での放射線も忘れてはならないなど、思いました。

76年がたっても変わらず、原爆症で苦しむ人を想像すると、原子爆弾は、ずっと人を苦しめ続けるものであると実感しました。2つ目は、トルーマンの優しさです。

原子爆弾は、広島、長崎と落とされましたが、京都が、専門家からは、交差点よく被害を出さるという指図がありましたが、トルーマンは、日本人間にとって重要な文化財を燃やしてはならないということが、今度の日本の象徴をわきまにしていることが、今の日本の見所として、栄えることができています。自国の国益だけでなく、敵国の状況をも考えた決断が戦争中、あったのが感動しました。

太平洋戦争から、76年がたち、ただ今、戦争の記憶がうすれつつある中で、子どものころに、原爆爆弾について、貴重なお話をきいて

ありがとうごさいます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生の話を聞き、想像できない程、おそろしく、不気味で、ありえないとだうたんだと感じました。作り話でもなく、実際にあったことというのか、今でも信じられず、頭がおどろきでいっぱいです。

「人が人でない」ということは、よほど、悲惨で、言葉に表せないほどだったことが分かりました。

七くなってしまった人たちは、身元確認できず、焼かれてしまったりして、それほど、七くなってしまった人が、大勢いたということが理解できました。

言葉だけでは、まだ理解できないともあります。なので、資料館などに行き、できる限りのことは理解し、今を過ごしたいと思いました。

町が灰色になってしまったのは一瞬で、人が飛ばされ七くなってしまふとも一瞬だったと知り、おどろくひまもなく、あと片もなくすやうに消えてしまったとゾクッとしてました。

七くなってしまった人は、必死で助けを求めたけど、助けることはできず、七くなってしまった人とたたたた悲しい気持ちになりました。

もう二度と、このうなことが起きほくないと強く感じました。





じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、単戈争のことをあまり深く  
 知らなかったのだから、こうかい気持ちで  
 した。ですがこの特別授業を通し  
 て単戈争のことをよく知ることが  
 できました。広島に落とされた  
 原爆は太陽が地上600mまで近  
 づくというのを聞いて、聞  
 く前はすごかったのだからとちゃんと考え  
 ていたのだからですが聞いた後は  
 おそろしさが増しました。戦争  
 はすごくこわいものでもあるけ  
 れどこれから生きていくのに単戈争の  
 おそろしさを知ることが大切な  
 と分かりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、先生の話を聞いてしょうげきを受けました。先生の話にもあつたように太よう、よしもあつて、7000℃になっていたことを知。てとてもおどろきました。太ように近づくと火焼けこげてしまうと知っていたけれど、それより1000℃も高い7000℃になっていたことに、広島に投下された原爆「リトルボーイ」はものすごい力だ、ということが分かりました。その原爆「リトルボーイ」で火焼けてしま。た人たちの痛みは想像しきれませ。ん。生きているのに血やうみがたい量にでて、うじ虫まで、でてきていて自分がそうなら、たえられないと思ひます。もう二度と、このようなことがおこらないでほしいと思ひました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくがお話を聞いて、原爆のおそろしさや衝撃き波の速さなどが知れました。中でもリトルボーイが落ちた時の温度はびっくりしました。理由は中央が100万℃、中央よりも外の所は、7000℃、地上が3000℃というよりも鉄が溶ける温度(1500℃)よりも高く中央や中央よりも外の所は太陽の表面(6000℃)よりも1000℃以上高かったからです。また、人々が軍に助けを求めても助けられなかったところがかわいそうだし、死の人たちがもし自分だったらと思うとぞろぞろします。また日本に原爆がないといいなと心から願います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

ぼくは、この特別授業を受講して、原爆というものがどれだけ恐ろしいかを知ることができました。それにより戦争というものが無い平和な今を生きているぼくたちがどれだけ幸せかも学ぶことができました。今日、話してくださったことを頭に刻み、原爆の授業を受けるときには、このことを思い出しながら受講していきたいです。この原爆のお話を他人事のように思わず、これからももしかしたら、戦争がまた始まり、原爆もまた投下されるかもしれません。なので、今平和な事を幸せだと思い、今日の話を一生忘れないようにし、生きていきたいと思います。そして、この悲劇を多くの人々に知ってもらいたいと感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくはこの特別授業を受講して、原爆は、  
自分が思っていたより何十倍もおそろしいことだ  
と思いました。なぜなら、すぐかたいコンクリ  
ートに入っていないと生き残ることができない  
し、フリをしていた人が一瞬で黒いしみだけ  
になったり、傷口にうじ虫がいたり、体が  
全身やけどしたりして、広島市の人口35万人の内、死者  
数が14万人もでいていたりしたからです。

ぼくたちはこの原爆に関して実体験がな  
いから分からないけど、よしろうさんなどの実体験  
がある人たちはおそろしい、おぞましいなどの言葉  
では、表せないような実体験をしたのだと思  
いました。

このことから、ぼくは平和がずっと続いてほしいと  
思いました。なぜなら、世界大戦で世界中の多  
くの人たちが悲しみや苦しみをあじわったので  
ずっと平和が続いてほしいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私は、原爆先生じゅこうの特別授業を受講して、原爆のおそろしさを感しました。原爆は、投下後、生きていた人たちにも、後遺症ややけどなどの害をもたらします。そして、原爆を投下する側の人たちにとっても、手がふるえるほどおそろしいものです。そのため、今後、また再び原爆が落とされるような事態や、立場が変わり、日本が他国に原爆を落とすといった事態には必ずしてはいけません。それは、原爆によって被爆した人たちだけでなく、自分自身や、自分の大切な人を守るためにもです。また、そのような事態をおいさぬよう戦争や原爆を体験していない私の世代やその次の世代へ、戦争や原爆のおそろしさを伝えつづけていくことが大切だと考えます。そうすることで、平和な未来を築きあげていくことができると思います。そして、今も後遺症に苦しむ人たちはまだいます。だから、その人たちのためになる対策を行うべきだと考えます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の授業を受講して、あの日から時代が進んだ。今もし戦争がおきたら私達日本人は、皆地球上から去るにいたると思います。なぜなら中国などでは、今新技術のとうかいされた、ミサイルなどをつくっている、身にしてました。そのためのようはミサイルを落とされたら日本はなくなる考えたからです。

また、あの時代に生まれきた人は、急に急なはずはつに、とまどっていたと思います。何が行かいたのかわからないまま死んでしまうのは、とても残ったと思います。またあの時代にいた陸軍の方々は、とても国のためにがんばっていたと思います。陸軍の方々は、自分の命よりも日本国民の命を優先して助けていた。これに対し私は、とてもリッぽな人達だと思いました。私は、この戦争でとくなくなりました。人の戦争にめつして、た人にめいぶくをおいりいたします。また戦争はこの世には必要では

新しいことを  
沢山の人が  
読んでください



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

とてもわかりました。

広島、長崎の原爆投下。今まではすごくおそろしい戦争の産物だと思っていました。それくらいにしか思っていませんでした。

しかし原爆先生の話を聞いて、原爆は残さなくでひさんな物だと知りました。アメリカ兵も恐ろしくなるくらい、怖いものだと知りました。

そして、たくさんの方の命をおりやりやぶった原爆のことを軽々しく呼んではいけないと思いました。たくさんの方を傷つけた原爆はそれだけ重いのだとわかりました。

よく、原爆のおそろしさを後生に伝える、とうたわれますが、私もこれに同感です。70年も前のことが、こうしてありありと伝わってきて、このいたみを絶やしてはいけないというのがよくわかりました。

私も原爆のひさんさを忘れず生きていきたいと思いました。





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、この授業を通して原爆をおとすぼうけん、おとし方などを初めてしりとてもおどろきました。

そして私は話を聞いて展示されている物がまだきれいだ、たと言っていて、私は展示品を見ただけでも、とてもおそろしいのにそんなに実際<sup>リアル</sup>のものがざんこくだと知り、もしも自分が実際<sup>リアル</sup>の場所にいたらと考えると、そう思うだけでとてもこわいです。

また、今の時代では外国との戦争でこんなにたくさんの死亡者、ひがい者が出る事は、ぜんぜんないので今の時代がどれだけ平和なのかが実感できます。

最後に私は今回この話を聞いてこのような戦争についての話をたくさんの人に広めたいと思いました。理由は、まえに、ニュースで政治家の人が「これからは戦争をしなければならぬ」などの事を言っていてそのような人の考えが無くなればいいと思ったからです。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

私は今回の特別授業を受講して、今までは軽く、やさしい言葉  
 で少ししかあつかわれていた、原爆について、くわしく知ることが  
 できました。アメリカはなぜ投下したのか、どのようにしてその後の  
 生活を送ったのか、を言ってくれたので、よりその生きざまが伝わりました。  
 手元にある資料と、スクリーンに映された映像を使って、実際の  
 町並が、短くまとめられた重点を見ると当時の町並や人々の考えが、  
 想像で、手前の原爆先生の伝えたいことがより伝わりました。  
 最後に5分程の動画を見ましたが、語りだしている時は泣きそうだった  
 ソンがそうだったので、原爆投下は想像していた以上に、  
 怖く、悲しかったのだなと、よく分かりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆をうけた人はボロボロになっていて人じゃない人みたいになっていることがわかりました。

原爆が起きたときに自分がいたような説明でもわかりやすかったです。

原爆先生が原爆が本当におきたみたい話を話をしていた。

死亡率が40%というとても高い割合で死んでいるとわかりやすくなりました。

原爆がどこにおきたのか、どこにおとしたのか、原爆の速度などもおしえてくれました。

一人で野人になったようにおれたいして、この苦しさを感じました。

今ではおれずの写真を見せてくれました。

原爆が約4世をおれ、この世におれたいと思えました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、原爆先生の授業を受けて、改めて原爆の怖さを認識しました。ぼくは原爆資料館に行ったことがあります。そこで多少の原爆についての認識ができましたが、多くはあまり理解することができませんでした。けれどこの授業を受けて原爆について理解し、自分たちがこれからすべきことも考えることができました。そして、それは、原爆のことについてしっかりと理解し、後世につないでいくことだと考えました。なぜなら、そのようにすることで、原爆先生のように、今まで原爆のことを伝えてきた人の気持ちを受けつぎ、被災した人たちを救うことにもつながると考えたからです。だからぼくは、これからは、身近な人に原爆について教えるあけたり家族と原爆について話しあったりするのを心掛けていきたいと考えました。なぜなら、ぼくも原爆の恐ろしさを知り、もう二度とそのようなことが起こってほしくないと考えたため、それを様々な人たちと共有していきたいと考えたからです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して<sup>じゅこう</sup>

表

私は、この授業を受けて、新たに原爆について知れたことがたくさんありました。特に印象に残ったのは、被爆者の様子についてです。今までは、焼けてしまって、悲しい姿になってしまったという程度しか知りませんでした。今日の授業でとても具体的に説明していただいたのでさらに原爆の恐しさを知りました。あとは、原爆の温度について説明しているとき、太陽の表面温度よりも高いと知って、被爆者の方たちの苦しさがさらに分かりました。また、前半が、実際に広島にいた兵隊からの視点での説明だったので、遺体や現場の整理をしているときの兵隊も、それはそれで、とてもつらかったということが分かりました。なので、二度と戦争は起こらないでほしいと思いました。また、広島原爆資料館に一度は足を運んでみたいと思いました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原子爆弾が落とされたことで広島や長崎には大きな被害が出たということも知っていた自分なりに原爆のことを知っているつもりでいたが、全くもって本当のおそろしさを想像できていないことに気がついた。もっと本当に体験しなければ「真のおそろしさを知らない」といって「あろうか」「唯一の被爆国である日本に住む人間としてそのおそろしさを知る努力をしなければいけないこと」に気が付いた。そしてただ「自分が知っているだけ」ではなく、そのことを後世にも伝えるべきだということもわかった。また動画を観て今でも原爆による傷が癒えられぬことを知ることができた。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

ぼくは話を聞いておどろきました。  
少し知っている所もあったけれど原爆が太陽よりも温度が高く、地面から60mもはなれているのに地面の温度が鉄をとかす温度よりも高いという事にもおどろきました。また広島と東京が何十kmもはなれているのに東京まで被害が及ぶなんて、えげつないなと思いました。そしてぼくは、単戦争中の時の本を言売んだ事がありその本では、原爆で日本が受けた被害と、外国が単戦争中またはその後を受けた被害も書かれていました。そしてそのことから日本だけでなく外国の人も家族を失ったという事を知ってもらい、争いはだめだ」という強い意志をみんなに、持ってほしいと考えました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回の授業を受講し被爆した人達の姿を聞いたときは、キリと頭の中にその姿が浮かび、思わず顔をそむけてしまうほどおそろしく感じました。そして現実には私が想像したものよりもっと痛いものだと考えたとき、本当は原子爆弾はおそろしく感じました。そして本当にこのような原爆が使われることがないようにしたいと思いました。そして改めて原爆は全てのもをこわしてしまうほどの力をもっているのだと感じました。お話を聞き話えた伊集川の頭の中にはおそろしいという言葉と被爆し、原爆症や原爆による病気の人から少しでも健康になり幸せに暮らせる日々が来るようにと願う言葉しかありませんでした。そしてこのような原爆による悲しいことくりかえさないようにしたいと思い、この原爆によるむかいたなどをより多くの人に伝えなければ、このことを忘れてはいけないと思いました。そして少しでも早く、世界から原爆がなくなる日が来てほしいと思いました。そして日本人だけでなく、原爆を落としたアメリカや原爆を持っている国、原爆のおそろしさを知らない国の人々に原爆の怖さを聞いてほしいと思いました。





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆は、自分が思うよりも痛。しい、おそろしいものだと分かった。こんなにもおそろしいものを、投下された広島の人々が一番そのおそろしさを知、ていると思う。100万と、どのくらいあついのか知らないけど、被爆した人は、あまりのあつさに必死で水を採ったと思う。原爆先生は、表現力が強くて、分かりやすかった。落とした側の人たちも京都には、人間に大切な文化財があるからため、といろいろな場所を候補にして考えていたと初めて知った。地面の温度が3000℃と言われても想像がつかないけど、鉄がとける温度よりも高いといわれると、なんとなく想像できたりして原爆先生は相手が分かりやすいように話すのが上手い人だなと思いました。ぼくは、原爆は、この世界にあってはいいないし、不必要だと思いました。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して<sup>じゅこう</sup>

表

原爆のひさんさが初めて分かりました。

原爆の落とされた広島、長崎でたくさんの方が被爆し、亡くなったことは知っていました。

しかし、広島の状態を教えたとき、始めて原子爆弾というのがとてもおそろしいものだと分かりました。

池田義三の話を通して、広島の人々がどんなに、おそろしい思いをしたのか、よく分かりました。

今回、お話を聞き、考えたことがあります。

二度と原子爆弾が落とされ、広島のようにならない。戦争をくり返してはいけない。そう思いました。たくさんの方が幸せになり、苦しく悲しい思いをしてはいけないと思ったからです。

世界が平和で続けられるためには、どうしたらいいのか。小さなことでも、人々が楽しくおだやかに暮らせるよう、自分たちが努力すること。そのようなことを自分もやっていきたいと考えました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

原爆先生のお話を聞く前も、原爆というのはおそろしいと知っていたけど、原爆先生のお話を聞いてからは、原爆は「殺人機」だと思いました。

被爆者のことを思っただけで、どれだけ苦しかったか、どれだけつらかったかが、こわいほど伝わります。

助けようとして組かけられなくて、必死に助けを求められていた兵隊さんは、地獄だなと思いました。

人間とは思えない姿に変った人体が、どろどろになった人々を糸色文に忘れてはいけなかった。そして、原爆を二度と落とさないと強く思った。原爆だけではなく、他のかく兵器も地球から無くしてほしいと思った。そして、原爆で人とは思えない姿で亡くなった人々のことは、世界中の人が知ってほしいと思った。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/20

原子爆弾は、上空600mで爆発したり、爆発の表面温度が7000℃で太陽より熱いことが、爆発して、空気が外に飛んだり、雲ができて、上昇気流で、雲が上がるなどの、原爆の被害などが分かった。

そして、熱線や、放射線など人体に危険なことがわかることが分かった。

熱線は、頭上から熱線をあびるので、暑くなる。

放射線をあびると、「原爆症」というものになっってしまう。

原爆で死んでしまった14万人のうち、5人に2人が原爆症で死んでしまった。

最後の重た画で、義三さんが原爆のことを話している中で、泣いていたから、それを見て、いる方も、つらかったのかなと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくはいままでずっと原爆は原爆ドームに投下してドームだけで爆発したと思っていましたが遠いところまで被害がおよんでいたので原爆のおそろしさを知りました。そして原爆投下の条件があることにおどろきました。

爆撃機のエノラゲイは原爆を4km手前で投下したのにほとんど投下目標地もずれていなかたのでおどろきました。

今日の特別授業のようなことは受ける機会がすくないと思うので今日うけられてよかったです。今日のことば家の人たちに話したいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ほんと原子ばくだんのこわさはしっていたけれど、この話を聞いて本当のこわさが分かりました。ひらがくさりしる話としていたとき、すごいこわかったです。原子ばくだんリトルホーイの中心温度は100万度で、表面温度は7000度ということにおどろきました。太陽よりもあついということにおどろきました。土の上温度も3000度ということはおどろかしたんは、助かからぬかと思っていたけれど、電話ボックスのトイとして助かった人がいるにおどろきました。原子ばくだんが広島に投下されてばくばくしたときの悲鳴が、おどろかしくて、トラウマにはりました。広島全体に広がる死体を少しづつかたづけするのを義三さんがかつかよかったです。死体はかたづけに悩んでいたのに、にげずにかたづける義三さんがすごいと思いました。そして今でもそのこと、義三さんが覚えてる人だから、おどろかしたんがと分りました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を<sup>じゅこう</sup>受講して

表

私は、今回の特別授業があったことから、これから何日間も原爆のこと、戦争のことを考えるかと思えます。それほど自分にとって、しょうげきを受け、何とも言えない感情になりました。もともと、原爆のことには関心があまりなかったし、「どうせ過去のことだ」と軽く見ていました。でも、今日の話を聞き、どれほど重いものであるのか、軽く見てはいけないものなのかを知りました。自分自身、死とかについてはあまり怖くないと思っていたのですが、この原爆で苦しい思いをした方々の話をきき、それがどれほど辛いのかを理解できました。当時、よしろうさんのような活動を行っていた兵隊の方も、被爆者と同じくらいまたはそれ以上に、心に傷を負ったことかと思えます。他人事だと思っていたが、もっと身近なことのように感じてしまうほどに、先生の話に聞き入ることができました。

こんな風に考え、これからもずっと、原爆のようなかく兵器が落ちてほしくないと思える授業でした。貴重なお話にとても感謝しています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/20

原爆先生の話聞いて、原爆の怖さをもっと知った。  
今まではただ、大きな爆たんかしかな、下なかたけれど、熱線や衝撃波、放射線の事を知って全然ただの爆たんじゃないなと思いました。また、リトルボーン<sup>は</sup>太陽より熱い(7000度な)のでもう手のようなものかぶってくるのはおえななと思っ、まうくらいです。そして少しずれてしまっ、たけれど、ほぼ目標通りの所にくる原爆。すごく恐いです。

そして私が原爆先生の話の中で一番おどろいたのは、被爆者率と死亡率です。思っ、たよりも全然被爆者数や死者数が多くて、ビックリしました。被爆者数、被爆者率や死者数、死者率の高さからも、原爆の怖さが伝わってきました。

これからは、この話を知ったので、ただ原爆怖いじゃなくて、原爆で被害を受けた人や亡くなった人の気持ちも考えたいと思いました。





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して<sup>じゅこう</sup>

表

12 / 20

原爆はどのように空中で爆発するかや原爆投下直後のことなどの音段はきけるような話をさらにくわしくはなしていただいても貴重な話がきけてとてもよかったです。池田義三さんの日記をもとにストーリーのよりに話していただいても臨場感がありました。特に原爆が爆発するときや被爆者の爆発直後の姿を表すときなどはとてもわかりやすいです。そして日本側だけではなく相手のアメリカ側のことも話していただくとよく知れました。アメリカが決めた投下候補都市や原爆投下後の飛行機の進路が印象に残っています。

最後に受講してみて、原爆の以前の印象は放射線を発する爆弾という印象でしたが、受講して、放射線をだすだけではなく、ものすごく高温の熱線を出し、これい爆弾だと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

今までも、授業やテレビなどで、原爆のために多くの  
人々が亡くなり、その遺体は川に流されたりするな  
ど、原爆がとてもおそろしいところまでは  
知っていました。でも、原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受  
けたら、いままで私が知っていたことが生やさしいと  
言えるくらいに、現実<sup>じゆんじつ</sup>はとて厳しく、つらく、苦しい  
ものだと、このことを知りました。私が、いままで、想像  
していた様子<sup>ようす</sup>は、何百、何千、もの原爆の真下にいる  
人々がやかれて赤くなり、ときには人が亡くなってし  
まうなどのおそろしい光景<sup>くわうけい</sup>だと思<sup>おも</sup>っていました。でも、  
実際<sup>じじつ</sup>はこれとはまったくちがいで、人がま、黒になり、  
ときには骨までやかれ、人々は助けを求めてもなお、  
皮<sup>かわ</sup>がむけ、泣きさけぶほどだ"とは思<sup>おも</sup>っててもみま  
せんでした。しかし、実際<sup>じじつ</sup>は想像<sup>さうぞう</sup>することが難しい  
ほどひどかったのだと知りました。なので私もひ  
ばく者<sup>ひばくしや</sup>たちのように、昔<sup>むかし</sup>おきてしま、たこのことを、忘れない  
ようにしたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくたちは授業を受けていて原爆の事を知っていた気でした。  
ですが実際はまったく分かっていませんでした。原爆が落ちたあの日は自分  
達があつたより地獄だというのが分かりました。助けようとしても  
助けられない人間の形が無くなっていたり体のいたる所が欠けて  
いたり原爆のひびきさが分かるような気がします。けれどこれでまた  
全部じゃないというのが分かります。まだもっと話があるんだということ。  
原爆先生は「一部を」という事をいってまた「話がある」という事  
です。あとその話も広島の人を話してくれる人だと思います。  
それにまだ他の世代の人に伝えていくという私たちの役目があ  
るのでこれを自分の死ぬ前まで話せて本当の授業の終わりなんだ  
と思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

今まで、原爆のことについてあまり、深く考えたことはなくて  
今日、改めて、原爆のおそろしさを感じました。

おそろしさやきょうふがだんだん分かっていくにつれて、今  
私達が生きている時代が、どれだけ平和であるのか、  
昔の人はどれだけつらかったのかも分かっていきました。

池田義三さんの話が、一番心に残っています。17才という  
若さで、陸軍になって、あんなにおそろしい、苦しい体験を  
した人の気持ちを考えると、私は手足がふるふるふるえました。  
原爆そのものについては、太陽よりも熱いということを知って、  
本当におそろしいものだと思いました。

また、原爆のおそろしいもので、忘れてはならない、放射線  
で、10年経って亡くなったりする後、症も引き起こすというの  
は、原爆のおそろしいものでもあり、(悪い意味での)すごいもの  
だと思いました。

もう二度と、戦争が起こらないように、もし自分でできる  
ことがあるなら、探して取り組みたいです。

また、原爆で苦しんだ人の分まで、自分が精いっぱい  
生きることの大切さを改めて感じました。





名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

今日の話を一番心に残った話は、義三の日記の中の話です。原爆はおそろしい物とは知っていたけれど、ここまでひどいものだったということを始めて知りました。たくさん焼けて死んでしまった人の死体は想像で済まないほどかきたくもなかったらうなと思います。また、死者の数や原爆がもたらした被害などを知り、とてもおそろしかったです。中でも原爆の表面温度が太陽の表面温度よりも1000℃高い7000℃ということにとてもおどろきました。7000℃のよけから下りてくるものが降り落ちてきて爆発したと思うと、とてもわくわく、おそろしかったらうなと思います。そして、たんとかほき残った人は、とてもひさびさな景色を見て、とてもうれしく、つらく、悲しかったらうと思いました。

今回の話を聞き、改めて原子爆弾を使った、戦争をしてきたことは、絶対にしてはいけないと思います。また、学んだ知識を少しでも、次の世代に伝えられたらな、と思います。

今日の話は絶対に忘れません。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

原爆は、とても危険で、人々を苦しめるという  
ことが改めてわかった。原爆の具体的な被害  
を知れてよかった。原爆は、いつおちてくるか  
は、まじりとは分からないので、気をつけようと思  
った。原爆によって、人々がどんなに苦しむのが  
原爆にあつた人々は、そのことを今でも覚えている  
ことがわかった。今を生きる人が全員原爆のおそ  
ろしさを知れば、もうこのようなつらいことが起こ  
ることはなくなると思う。私も、知りぬいに原爆  
のことについてしゃべろうと思った。そして、もう  
「原爆」ということは、絶対に許されない(使わな  
い)平和な世の中になつていけば人々は、あんな風に  
傷つき苦しむ必要はなくなると思った。

原爆のおそろしさはもちろん、絶対にやてはりけな  
いこと。その一発で、人々がとれだけ苦しむ傷つく  
がどうかわがわかりました。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/20

ぼくは、原爆の音はどれほど大きいか、被害はどれほどかをよく知りました。衝撃波の速さもくわしく知りました。毎秒440m、音速は100mおそい340mということまで知りました。広島におちた原爆の種類、リトルボーイということは知っていましたが、そのリトルボーイの意味は小さい子という意味で、長さが3.12m、重さが約4t。このリトルボーイでも3.12mで4t。ということがびっくりしました。原爆症という言葉もありました。それはとても危険な病気だということがわかりました。原爆は、とても多くの人の命をうばっていきまし。犠牲は14万人でした。広島市の人口が35万人、被爆者は24万人。被爆者のうち、10万人が死し、広島市人口の約半数の人が亡くなったということがわかりました。ぼくは、そんな危険な物をもよく知ってうたてられたし、人の命とはどんな物かをもよく知りました。





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/10

改めて原子爆弾の恐しさを知った。自分が矢印  
していた事は、あの日起きた事の十分の1も知らな  
かった。トラックに乗り込もうとしていた人を目かけ  
ようとして、皮肉がはがれ去りして、いやな感じ  
くがあったというのは、想像したくないなと思  
いました。原子爆弾が直径200mにわたって爆発  
し地上が3000℃になると言っていたから、言葉になら  
ないくらい怖い。死体の処理をするのは、おい  
物、体の状態など色々な面ですごく辛かった人だ  
なと思いました。第二班王が生き残った事で、女  
性は生きられる事が出来たから、それはとても  
嬉しい事だと思います。

ひ爆者達の痛み、苦しみ、絶望を想像するだけ  
で胸がはりさけそうです。このような事が二度  
と起きないようにしなければいけないと強く  
思いました。





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆がとんでもないものであるが、とんでもなく行われたが、とんでもない被害が<sup>いふ、あつ</sup>おこり、原爆がとてつもない兵器だということがよく分かった。また、実体験者のようにその日の日記から分かる人々のようすが想像できないくらいにこわくて、体がふるえるときもあった。こんなおそろしい兵器が使われない世の中をつくるために何かできないものかと強く考えさせられた。そして、平和はとても大事なのだと改めて思い知らされた。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆は本当に怖いと感じた。

人の死体がたくさんあってただのけがどころ

じゃないのに救助や死体を運んでくれて

方たちに私ですら感謝を感じた。

こんなにつらい事をあきらめずにやってくれた

方たちへ恩返しとかかしたかった。

もう、このようなことが起きないようにしたい。

もっとあとの世代の人たちにも原爆のことを

教えて、これからもうさと忘れられることのないよ

うにしっかり伝えていきたい。

毎年 8月6日に拜むのを忘れないようにする。

太陽よりも熱い物体が自分たちのすぐ近くに

来ると考えると原爆はすごくおそろしい物だ

と思った。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は授業でなら、た「下の場所をねらってうた」ということだ。「木でできた家などは、すべてもえてなくなつた」などのことは、知っていたけど、原爆先生の話を聞いて、原爆がおちたときは私か知ってる以上の出来事かどうしに起こっていたんだとあらためて思いました。私か一番心に残つた言葉は、爆心地の下の人たちは太陽よりもあつい温度か、自分の600m上ではくはっしひふか、とけ、手をさしのべても、ひふか、とれるだけで、トラックに乗せて助けることかできなかったということでした。理由は、太陽よりもあつい温度を全体にあび、ひふかがけているということをも想像すると、とても痛か、たので、それをあじわつた人々は、とても痛か、ただろうと思つたからです。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

まず、一番に思ったことは、被爆を体験した  
人々への敬意と、もう二度とこのようなこと  
がおこってほしくないと思いました。

そして、原爆先生の話し方がとってもリ  
アルで、グロく、痛みと想像すると、とても  
とりはたかたまりました。老人から小さな  
子供まで、か殺されたと思うと、とてもくる  
しかたし、原爆がどんなにおそろしく、  
たくさん命をなくすのか、よく分かりま  
した。もし自分がその中の一人だと思うと、とても  
こわいし、家族がもしせくたってしまったら、と  
とても悲しいです。ほかに、死亡率が40%で  
5人中2人がせくたっていることにもとてもおどろ  
きました。そして被爆率が70%で、後いしょうもな  
く、自分が体験してないのに、とてもこわいそ  
うで苦しうでした。もう二度とこんなことがないよう  
におかいます。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

12/40

あの日、何が起きたのが、

原爆によ、てどうなってしまったのが

が分かった。

原爆のいりし、100万℃という感じが、  
強すぎて、よく分からない。

何かあったのが、よく分かるように、分からない。  
というか、分かりたくない。

そんなものが、現実にあったということが  
信じられない。

被爆者としては、落ち着けるわけがなかった  
だろう。ただ、逃げなければ、という気持ちだった  
のだと思う。絶対に「生きたい」という気  
持ちで、よしとうちたちに助けを求めたりしたの  
だろう。

助けを求められた、よしとうちたちも最初は怖かった  
と思う。たけと、手を伸ばし、助けようとした、  
じつがただれた、はがれた腕なんて想像もつか  
ない。いやな感触だったのだと思う。

叫びたかったと思う。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

広島 長崎で起こった悲惨な出来事を知りました。14万人が死に至り、そのうち2万人はあといまに蒸発し、あといまに川も蒸発し、木造の建物などもあ、といまに蒸発する……。このようにまずおそろしいのは「熱」で、地上でも爆心地は3000℃に至りました。そして「衝撃波」は音より速いので、だから近くの人には反応できません。もともと、近くにいた人は3000℃の熱でほとんどが蒸発してしまっているでしょうが……。そして、死に至らしめるものは何十年たつたあとにくることもあります。その原因は「放射線」。これは人間に有害であり、「原爆症」という病気をもたらします。これもあり、死亡者14万人はあくまで被爆した短時間での結果であり、実際に原爆症によってなくなった人も相当な数はいます。





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、はじめ、原はくのおそろしさを理解していると思、ていました。たくさんの人々が亡くなって、すべてがやけて無くなって、ひどいことにな、たんだなあ、と。今思うと、原はくのことを甘く見すぎていたのだと思います。広島、そして長崎に落とされた原はくは、たくさんの人々の命をうばっただけでなく、残された人々の心までうばいました。実際にそれを体験したエピソード「7000℃の少年」の一部を聞き、「言葉では表せない、どんなにひどいことが文字に、文章にしても伝えられないものがある」という気持ちが出来てきました。私は、原はくを体験していないので、本当のおそろしさなどは分かりません。けれども、今日聞いたことを後の時代にうつぐことはできると思いました。今まで知らなかった、「リアルな原はく」つらかった、苦しかった、くやしかった、そんな感情があら、れ出してきました。原はくがどんなにひどいことが、そしてこんなことが2度とおきたために、せめて私も、原はくのおそろしさを後へつないでいきたいと思、います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

12/20

原子爆弾が、改めて、こわく、恐怖をあたえるもう二度と使ってはならない爆弾だと実感しました。最初は、京都に落とそうとしていて、びくくりしました。ですが、アメリカが、大変歴史のある都だから、アメリカもそこは、こわしておならぬと思ったんでしょうね。原爆は、広島に落とされ、人口34万人の14万人が亡くなってぼくは、悲しく、大変だったんだなと思いました。大きいはんいで、建物が、すべてこわされ、かんじょうな建物までも、一部こわれてすごい、いなくなりました。原爆の温度は、中は、100万<sup>°</sup>で、表面は7000<sup>°</sup>で太陽の表面温度は、6000<sup>°</sup>で、太陽よりも熱くで、すごくおどろきびくくりしました。地面の温度も3000<sup>°</sup>で、鉄をしかたのは、1500<sup>°</sup>で、2倍で、やけど、どころじゃないなと思いました。広島は、原爆で、五人に、二人が、亡くなっている、最初にいったとうり、こわく、もう二度と使わない、人をあやめる危ない爆弾。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して<sup>じゅこう</sup>

表

私は、原爆先生の特別授業を受講して、戦争がこんなものはしてはいけないと思います。戦争や原子爆弾は、罪のない戦争を望んでいない人々を無差別に殺します。しかも、地獄のような苦しみを、痛みを味わわせてから。このような残酷なことは、二度と起こってはならないことです。そして、私達人類は原子爆弾の酷さと、惨さを忘れてはならないと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は池田義三さんの人生を聞いて  
みても本当に現実でめめのかととてもおど  
ろきました。戦争のおわりには今の私達は  
分からないし、体験した人しか分からない  
そして、あと数年したら体験した人が全  
員少なくなってしまうから私達はもっと戦争を  
これからの人々に伝えなければならぬと  
感じた。特に人が人のすかた下はなくなって  
しまうこのおわりには体験した人にしか  
分からないと思う。づらかったと思う。私  
はそんな中でも兵隊として活やくした人  
を尊敬したいとあらためて感じた。この  
原爆で広い河川は真赤な死体でうめ  
つくせれたと聞いて、体の熱さを表現  
できないほど熱かたと思うし、思いうか  
べるととてもいたしいと思う。原爆  
先生の話を聞いて私たちには伝え  
られないないやみがたくさんあったの  
だと感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1

原爆は一度落とされただけで、たくさんの方の命をうばう、おそろしい物だ」と改めて思いました。また、その現場に実際にいた人の話を初めて聞きました。原爆が落ちてきたときの音、あつさ、いびきが、よく分かりました。原爆は太陽より、あつさという二つにおどろきました。そんなものが自分の上空でばくはつしたら、と考えると、とてもおそろしいです。それだけでなく、生きていたとしても、道を歩く時、七くは、人が、におれていることを思うと、自分はどうするのだろうか、なにができるのかと考えました。私は、おそろしいのあまりに、泣いて、いることしかできないかと思いましたが、兵隊さんたちは助けを求めている人に寄りそい、助けをあげていたのが、すばらしいと思いました。戦争はもう二度あってはいけません、やらねえ。今回の授業を受けて強く思いました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話を聞く前は原爆が「どれほどおそろしい  
ものか」がわからなかった。だが話を聞いて、17の原爆で日本人  
の多くが死亡し、命をうばったものと分かった。そして軍隊  
の人は、原爆によって死亡してしまった人たちの姿を見てその遺  
体を火葬したり、運んだりした。こうはけいとした人たちの命が救えな  
いことも、とてつがたかと思つた。そしてほろろ話を聞いて、一  
番びっくりしたのは原爆の温度が太陽より熱く、その近  
くにいた人たちはいっしょに死んでしまった。そして生きていく  
ことが出来ず、理由は、いっしょに死んでしまった。そして自分も  
死んでしまつたというのを聞いて、とてもびっくりした。そして自分も  
一番話を聞いておそろしいと思つたのは、原爆で死んだ人たちの  
体は火葬された。理由は、手を付けただけでも、皮膚が「スツ  
スツ」とおちついていくのを想像しただけでも、ゾクゾクしてしま  
う。それなのに、原爆で死んだ人たちの、軍隊の人たちはそれを間近で見て  
経験したというのには、本気でつらかったと思う。経験した人から聞いた  
思い出は、とても思い出されて、日本の全国民の人があつた。つらかった  
と思います。ほろろ戦争や原爆を使わず、平和の道で生きていく  
ことが、同じの人には、つらかった。つらかった。つらかった。つら  
かった。つらかった。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆のことをたゞさくかく知れてよかた。  
 江田島から八丁堀にへ行くときトリー月にのり  
 たくおのたさかう助けて。……日曜日  
 痛いよ……助けて。……、この声かたに聞かなくて  
 て義三さんをつらにし、被爆者のたさくおのつらい  
 思いをしたら思えます。死体を運ぶ時や、  
 手に想像以上につらい思いをしたら思われ  
 苦しかたに思えます。お母がかかっているお母はわた  
 をし、ハエがあつた。……で、助けてよかたに思いた  
 広島市の人口は、当時、約35万人のに、たして、  
 死者約14万人、と悲むさる。原爆は、はせ落る時と  
 いうたかたの下ろくはせ作、たのたろく  
 す、と思えました。先日は、思たことはお利するかと聞  
 ておたして、原爆は、さ、たさくおの人に、こんな  
 苦しい思いをしたらたさくおにいるという、こと、伝えたい  
 僕たちの時代たてては、90年後、100年後、1000年後  
 にも、と伝えたい、と僕は思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆を思いうかべるとしてもかわい  
 感じ、これからそのようなことはおきて  
 はおかないと思った。また「4万人死ぬ  
 こと、京都の文化財をどうにかお  
 かしい」と思った。原爆の名前が「リトル  
 ホーイ(少年)」ということに「これはさすがに  
 少年と日本に大きなひかりをもたらした原爆が  
 とても似ていると感じられました」。





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私はこの特別授業を受講してとてもおどろきました。そして、とてもわかりました。どこにおどろいたかという、皮がはがれて肉が見えたり、まるで人間ではないようなすがたになることが、実際にあったということにおどろきました。そして、わかりました。実際にはこんなことがあったと知り、もしもまた原子爆弾が投下されてしまったらと考えると、とてもわかりました。きっと爆心地の近くにいた人たちは、とてもこわく、苦しかったと思います。今まで経験したことのない痛みでとても苦しかったと思います。

温度が7000度までいったということ、たいようより温度が高かったということ、しょうげきは音速より速かったということを知ったときは、とてもおどろきました。「リトルボイン」という名前は、少しこわいと思いました。なぜなら、日本語で「小さな子、またまた少年なので、これからあと成長して、はかい力がまじった原子爆弾が投下されないか、またあのじごくがくり返されないかが」ととてもわかりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私はこの授業を受けてよく分かったこととよく分からなかったこと2つありました。原子爆弾のことについては何か前も少し授業としてやったので少しは分かていました。今回は前よりも具体的に想像できるので前よりも原爆がこわく感じました。くに太陽が地上600mまで接近する様な感じというのかとても分かりやすく想像したとたん戦りつかまりました。太陽の温度を超えるのはすごいのに原子爆弾としてこえるのは少し切ない様な気がしました。熱線、放射線、衝撃波、1つだけでもおそろしいのに、3つともかかっているなんてとてもおそろしいことだと思いました。私がよく分からなかったのは、京都に原爆を落とさないということでした。占領しやすくするために落とさないのならまた相手国の気持ちになれば分かりますが、戦争をしている国の文化財を残すという理由がよく分かりません。それなら広島や長崎にも文化となる建物などはあると思うのになぜ京都がダメで広島などが良いのか、そもそも戦争は必ずはがを生むもので、戦争をやっている上で文化財を守ろうとするのはむしろいい。私には何でそうなるのかが分かりませんでした。私は相手の国のやっ悪いことと悪いことの違いか分からず、そもそも戦争をする理由が分からないので戦争の話聞いてもただ悲しかった切ないだけでした。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

僕は今まで原爆について、本や教科書で  
読んだことがありましたが、しかし、被爆者から直接  
話を聞いたことはないので、貴重な体験でした。

僕が原爆先生の特別授業を受講して、心  
に残ったことは三つあります。

まず一つ目に、アメリカ側の原爆を落とす  
作戦です。平野で効果的に爆発させたり、空  
襲が下から都市に被害を与えるという作戦に  
驚きました。でも、実際に原爆の被害をくわしく  
知り、被害を拡大させようとは思わなかった。

また、二つ目に、義三が、広島で当時に女性に  
あてて手紙です。被爆者として生きていったのは  
奇跡だと思ったり。

そして、三つ目に、義三さんのビデオです。実体  
験のある義三の原爆の被災体験がよく分か  
ったような気がします。

これから原爆について知り、次の世代に  
伝えていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原子爆弾を落とすことにちゃんと考えているんだなと思いました。ひる、かたただれたりしているのを想像したらこわくなりました。太陽よりも熱いものが落ちてきたら、はっしんて死んでしまっしん、と思いました。もしも今原子爆弾が落とされたら人類はどうなるか気になります。昔と今ではどう違うのか、それとも似たような感じになるのか、おそななことになるまいように改められたのか、なとと気になることがたくさんあります。私は前に、これに似たような夢を見ました。先生の話を聞いている時に、この夢を思い出しました。リトルボーイになせか聞き覚えがありました。どうして原子爆弾を落とすのか、どうして原子爆弾を作るのか疑問に思いました。いつかこの出来事は、このように特別授業がなければ忘れられてしまうのかなと思いました。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

エノケイが3m12cmで4トンもあるリトルホジイ  
(原子爆弾)も3000kmもはなれた日本まで運んだのがす  
ごいと思った。

原子爆弾投下都市の条件は無いと思っていた  
たけど、あって原爆を落とすためにいろいろ  
なことを考えていたんだと思った。

原爆投下目標地点と原爆が  
落ちた所がすごく近くてどうやってちよう  
せいしていたのかなと思った。

池田義三さんは死体を一体一体を  
集積所に運んで焼却するのをやめていて  
命令はすごいと思った。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

特別授業を受講して、私は衝撃すぎて何も考えることができませんでした。広島で原爆があったことは、知っていたけど、くわいは知らなかったなので、知れてよかったです。広島・小倉・長崎の他に、横浜・新潟・京都も候補だったことにおどろきました。原爆ドームの元の名前が、広島県産業奨励館だったことにびっくりしました。御幸橋の寺前で声をかけてきた男の子は、女性のために、一生けん命道を教えていて必死だったんだなと思いました。すごくやさしい子だと思いました。ひらがとけて、ドロドロになってしま、た人々は、平隊たちに助けを求めるとき、最後の力を出したんだと思いました。手を支しのべて、被爆者のひらがボロボロと、はがれてしまったと聞いて、ゾッとしました。私たちは、過去の出来事を伝えていかなければいけないと思いました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

私は今回この特別授業を受けて、こんなに詳しく原爆の話を知ったのは初めてでした。

こんなにも残さなくなることが何十年前に起こっていたかと考えたときは、とてもおどろいたし、こわかったです。私が印象に残ったことは2つあります。1つめはとちゅうで流れた原爆が起こったときの音です。あんな音が、とつぜん聞こえたら、私はどうなってしまうのだろうかと思いました。2つめは原爆のあとの人々の体についてです。皮膚がはがれ肉や骨が見えると言っていました。私の体はそんなふうにならなってしまうとは、想像ができません。けれどそれがそのときの現実だということを知ると、その当時の人々はどれだけつらく、痛かったのだろうかと思いました。

私はこの原爆先生の特別授業を通して、様々なことが分かりました。また、もう二度とこういうことをりかえしてはならないのだと、改めて思い知らされました。そして、原爆で命を落とした人の分までしっかりと生きたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

・普段はあまり聞くことができない原爆がもたらした恐ろしさを改めて知りました。特別授業を受講する前までは昭和に広島と長崎に原爆が落とされた。そして多くの死者、行方不明者をだしたというざっくりとした内容しか知りませんでした。しかし今日の授業内容を聞いて詳しい事を知り、さらに原爆の恐ろしさを知りました。放射線によって苦しむ人、衝撃波がどれ程強かったのか、死者数や死亡率などなど様々な事を知ることが出来ました。

・あれから何十年もの年月がたちました。原爆はすごく怖く恐ろしい事で目をそむけたくなるような出来事ばかりだと思いました。しかし一回でも広島に行く機会があれば原爆ドームや平和記念公園、資料館に行って、あの日のつらく悲しい事件を忘れてはいけないと思いました。

・資料館にある遺品だけで十分痛々しいけれど現実で見たあの日の方が何倍も痛々しいのかと思いました。





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆の話を読み、改めて戦争のこわさや残さを知りました。以前、国語の学習でも広島原爆に関わった物語を学習しました。ですが今回は、その時よりもくわしい話を聞いたので戦争のおそろしさをもっと知ることができました。戦争とは、とてもくわしい、残さな物だと思っています。今後そのようなことが起ってはいらないと思いました。そのためには自分たちも戦争について学習し、今回のように次に伝えて行くべきだとも思いました。また、今の自分たちの生活があたり前ではないとも感じました。この特別授業で聞いた話は実体験までくわしく聞くことができたのと、声を聞いて学習したので文字を読んで学ぶのとはまたちがう感覚、感情になりました。私はこの学習で様々なことを学びました。その学んだことや感じたことをこれからも大切にしていきたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

じゆうこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆トームなどの事は知っていたけれど

ここまてくわしくは知らなかったです。

一番思ったことは「言葉では表せないほどおそろしく、こわかったのだろう」です。最後に見た重力画でも池田義三さんは「言葉では表せないほどおそろしかった」と言っていたので一番思った事は「おそろしかったのだろう」です。

熱でドロドロになった人の言舌がとてこわかったです。この自分の体が真赤になり肉がドロドロしていると考えるとゾクゾクします。しかもふつうに歩くと、わきの骨部分がこすれて痛いからうでを前にしないといけないと言舌を聞いたときは、考えることが出来なほど痛く、つらいたらうな...と思いました。

原爆が投下され、くるしむ人の他に助かった人でも放射線病をあびて、まだ苦しんでいる人もいると考えると、おそろしいです。

今回の授業を受け、原爆の事に関して、くわしくなれました。今後、このような事が起こらないよう原爆を祈っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

特別授業を通して、まず、戦争を二度とくり返してはならないのだと思いました。原爆先生のお話の中で、被爆者の方の細かい様子が出てきて、背筋がゾッとするような場面もありましたが、この歴史をくり返さないためにも、知ることができてよかったです。

次になぜ人は戦争をするのか疑問を持ちました。日本でこんなに悲しい出来事があったのに他の国ではまた争いが続いています。その国の人たちがみんな「NO」と言えば、戦争も起こるはずがありません。日本もアメリカは強いと知っていたのに、なぜ戦争になったのか不思議に思いました。

これからはこの誤まちをくり返さないためにも、原爆が原因で亡くなった人の死を無駄にしないためにも、日本国憲法の第九条を厳守するべきだと思います。また、原爆資料館や原爆ドームに行って、原爆の怖さをさらに知り、自分が大人になったときに、子供にそれを伝えたいです。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

池田さんの、原爆資料館で人形を見た時に言った「きれいすぎる」という言葉にただただ驚いた。「焼けただれている」その言葉だけで私は「痛い」「やむごい」という思いがあらわれてくるが、池田さんは、とむごいもの、いや、悲惨すぎる光景をその目で見たのだらう。私も今の光景を思いうかべてみると、目をそむけたくなるものばかりだ。私がその場にいたら、間違いなく呆然とし、誰かを助けようなど、一番思うことはできないだらう。

また、私は原爆を受けた後、すぐに亡くならなかった人の気持ちを考えてみた。早く痛みから解放されたいと強く願ったのではないだらうか。死にたいとさえ願ったのではないだらうか。火傷ひどい言葉ではすまされない程のけがを負った人々は軍人の人に助けを求めた。私はその助けて、「はしかい欲しい、または殺してほしい」とどの意味で受け取れると思った。最後には何を考えたのだらうか。人の海にのまれ、熱さで苦しんだ人々は、考えるひまなどなかったのだらうか。そして最後に、原爆が終わり、その後尚苦しみながらも生き続けた人達に大きな敬意をひょうしたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を<sup>じゅこう</sup>受講して

表

私が授業の中イ一番衝撃が大きかったことは、  
 防火用水の桶の中から遺体を出した時に、その  
 遺体からうで肉などがはがれおろたこと  
 です。私は原爆の話をもっとく聞いたことがなかった  
 わけではありませんが、よく皮膚がはがれおろて  
 痛々しかったという内容の話がきます。ですが、今回は  
 皮膚ではなく肉と普通に生活していたら出てこない言葉  
 であり、それが人間の肉ということがすごくおそろしかった  
 です。

また、私は最後の義三さんの話の中で途中義三さんが  
 泣かれた時、私の想像を踏かずに上回る感じが同じ  
 日本で行ったということが身にしみて感じました。このことは  
 実体験でなければ絶対に分からないことであり、またその  
 を今の私たちが分かることも難しいことだと思います。  
 ですが今日の私のように授業をまかすのが分からないことだっ  
 たたくさんあり、せうに今この瞬間に原爆症で苦しんでいる人が  
 いるそのこと私一人であってもしっかり覚えておきたい  
 です。それが被爆者に対する感謝であるのではないか  
 と思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今まで、<sup>じゆうこう</sup>国語の文章などで、原爆  
 の怖さは知っていたつもりだったが、  
 たまたま、はつきりと原爆について  
 たけのことはなかった。でも今回は原爆  
 を実際に体験した人の話を聞いた。  
 たかやとてモリアルで先生達を感じた。  
 とくに、死亡率が40%たかやといふこと  
 にはおどろいた。おどろく数字でこれほど  
 までの人が亡くなったと考えるとしても  
 心が痛い。

またこれ以上の人が原爆症に気づいて  
 しまうことに気がつくようになった。原爆  
 の被害ははかりきれない。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆というものは、怖いと思いました。  
広島<sup>の</sup>死体の処理をするのにあたって、  
トラックにのろうとする人の皮が、かたがた  
おちていくとき、恐怖をおぼえました。助け  
たいという気持ちとゾクゾクとする感情  
がまざり、なにもできなくなり、感情が  
乱れていきます。その中、爆心地へ向かい、  
死体の処置をするとなると、いやだと思  
います。その中で処置を続けた人々は  
勇かんですごいいいと思いました。広島市長  
崎でおこった原爆が、もう二度とおこら  
ないように、後世につたえるために、広  
島にある原爆ドームが世界遺産に  
登録されていると分かりました。包帯  
をまいて、なにか被爆者を助けよう  
とする、人たりに感謝と、思いやり  
があると思いました。これから  
も、原爆のおこらない平和な世界  
が永くことを願います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆先生の話聞いて、原爆のおそろしさを知りました。  
前から、原爆の話は知っていたつもりだったけど、  
今日の特別授業を受講して、私が思っていたより、  
おそろしく、悲さんが出来事でした。原爆が落ちて  
くる時の表現のし方が、とてもひびくようにして、  
話にのみこまれていきました。最後の義三さんの  
VTRを見たとき、60年以上たつた今でも思い出  
したら泣いてしまうほど、とてもこわい体験だっ  
たのだと思いました。私は、原爆ドームや、原爆  
資料館に行ったことがないのですが、この話を  
聞いて初めて行ってみたいという思いが出てき  
ました。爆心地の近くには、熱いや、  
「痛い」と思うひまもなく、あとかたもなく炭や骨だ  
けになってしまつて、とてもかわいそうです。もし  
自分が体験したら、義三さんのように、60年以  
上たつても、思い出したら泣いてしまうかもし  
れません。もう二度とこんなおそろしいことは、  
起きてほしくありません。





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

ひどかったです。原爆が地上600mで爆  
 した時爆へ地のちかくで何が起ったかも分  
 からず亡くなった人たちがかわいそうだなと思っ  
 ました。被爆者たちでかろうじて生きのこった人  
 も核放射線の病気に悩まされた人々も  
 今も生きています。原爆のこころいように苦しんで  
 いる人たちは原爆から引けても苦しんで  
 いるのはひどいと思いました。被爆者を見  
 て爆げき木幾を指した木幾長やあめわ、た  
 んたちはどんなことを思ったのでしょうか。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

話をきいているとき、ただただこわいという感情しかありませんでした。

自分がもし被爆したら、どのようになるのだろう、その被爆した人々はどのような気持ちだっただろうと今考えています。

原爆投下都市に「小倉」があるのですが、お母さんは「小倉に原爆が落ちていたらおそらく自分たちはいない」と言っていました。(いまはいない)

(というのも、私のひいおばあさんにあたる人が小倉付近に住んでいて、ひいおばあさんの息子であるおじいさんがいないとお母さんと私は存在しなくなるから)

小倉がくもっていて原爆を落とさなかったのなら、いっそ広島や長崎もくもっていて投下されなければ良かったのに、と思いました。

原爆資料館に行くには、すごく勇気がいりそうです。再現した人形がおそろしいです。

原爆や戦争はとてもこわいですが、それを知るのはすごく大切なと感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

僕は、原爆<sup>じゅこう</sup>というのは、とても危なく怖く最悪なものだと思いました。1つのかたまりで何千人何万人も人がこの世界からきえてしまい、原爆で放射線そのほかにもさまざまな有害物質をたすのでとても最悪なものだと思いました。この特別授業で、今僕が思ったことが原爆にふくまれている有害物質、大きさ、名前、原爆が落ちるとどうなるのかを教えてくださいました。原爆先生にとても感謝しています。今の生活にとても感謝しています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは話をきいて原火暴<sup>じゆこウ</sup>についてしるなりこと  
もたくさんしれてよかったと思った。

原火暴のしょうけさ波が音速よりも速いというこ  
としてびっくりしました。

原火暴をおとされた広島の人口のうちの死亡率は40%  
だけど被火暴者のうちの死亡率は50%を超えて  
約58%なので被火暴した人の半分以上が死  
んでしまったということしてびっくりしました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

改めて原爆は、恐ろしいものだと思いました。特別授業の中で出てきたおじいさんの(17才の頃兵隊だった人の)言話を聞いて、当時のうらさ、苦しさがとても伝わってきました。一番しょうもないのは、熱でひふがだらんとたれ下がった人々の話です。その状態を想像すると、とても恐ろしく感じました。

このような事は一生忘れないようにします。そして二度とこのような事は起きてほしくないです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して<sup>じゅこう</sup>

表

原爆をおとす場所についての、京都をやめた理由が意外だ。た。

なんで太陽ほどにあついたら、ボーイをつくれたのかな、と思った。

自分はあんな思い絶対にしたくないし、見たくもないと思った。

リトルボーイが4人もいるということにおどろいた。

原子爆弾ににげ場はないということを知り、

原子爆弾の力はすごいとおどろいた。

5人に2人は原子爆弾によって死亡することと、

死亡率が40%もあることと、

電話局の地下のトイレにいたら助かったという話におどろいた。

こうげきするほうからすると第一候補の広島に

おとせたのはよかったのかな、と思った。

名前のつけ方におどろいた。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日ぼくが学んだことは昔に広島と長崎の二ヶ所、原爆が落したことについて学びました。ぼくが一番おそろしいと思ったのは、広島に投下されたリトルボーイです。小さい子供という意味があり、リトルボーイの直径は3.12メートルもあり、重さは約4tもありました。そのようなものが今落とされたと考えたらおそろしくてまりません。衝撃波の中心は毎秒440m、音速が340m毎秒です。衝撃波の方が音速より速いということがおぼろしくわかった。昔の広島市の人口は35万人で被爆者数24万人、死者数は14万人で死亡率が40%という方の人口が、おぼろしくその2万人が死にました。このことがおぼろしくわかった。ぼくは今回原爆のことをよく学びました。今後から昔にたくさんの方がおたことを思い、もっとおぼろしく原爆の事について知りたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

思、てたよりもしょうけさが強すぎて正直びっくりと怖さで気が付いたらなみだがこぼれたり、ふるえたりしていました。経験した人の思いが、心にズッと刻まれて戦争に何の意味があるのかという思いといかりで苦しかったです。戦争を、他の国も無くしていつか平和になる未来を望んでいきます。きと、ずと苦しみながら自かけて、といった人は、天にいくまでか苦しかったです。ろうと思いました。みんなで戦争の歴史を伝えていきたいと思いました。私は、また原爆ドームに行きたいと思っています。もう、こんな悲しいことがおきないことを願っています。亡くなった方たちの分も長生きしたいと思いました。また、なぜ「小さい男の子」という名なのかなぜあんなにもおそろしいものをそんなかわい名前をつけたのか、イライラがとまらなかった。





原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

は、かしにとましようがきなごもが、  
 実に、超えていて、とても信じられんごした、  
 人、は、どの、い、若くても命が、あ、る、の、ま、い、  
 に、け、れ、ん、け、て、き、ら、と、か、ん、お、て、い、て、あ、こ、り、  
 だ、と、思、い、ま、し、た、な、せ、ら、は、い、た、ら、し、に、け、つ、つ、  
 くら、い、し、思、う、か、ら、い、



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

今まで、なんとなくは原火暴について知っていたけど、この話を聞いて自分が思っているより、もっとひどいことだと知って昔その場にいた人を本当につらかったんだなと思います。

とう下した本人でさえもおどろくほどの力の原火暴は本当にすごいです。

ひるなどかいたただれている人をみたり、人が灰になってしまった人もいて、そんなことが現実でもありえるとしてぞっとしました。

爆たんの名前がリトルボーイ(小さな子)でも、名前とは反対にしてもすごいものと、写真付きで教えてもらいよく分かりました。

そんなつらいことが昔にあったなんて信じられないけれど、本当にあったことだと分かり、悲しい気持ちになりました。二度とこんなことがおきないでほしいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

池田義三さんの広島に行つて見てほしいわつたきょうふを知つて自分まで背筋がぞつとした。池田義三さんが資料館に行つて女の人の人形を見た時、画像で見つていてもとてもおんなな状態だったのにそれを見て「美しい」といった時ばかりは、池田義三さんがどれたけのきょうふと小布士を味あつたのを考えるだけ怖かつた。原爆で広島県産業資料館が原爆チームになつた事を知つた時、どれたけ強い力だつたのか想像もつきません。でした長崎の原爆はあまり聞く事が無いが、広島がこれだけおんなたつたという事は、次に原爆をうけた長崎はどんな風になつていたのか知りたくなつた。もし京都におちていたらどうなつていたのか気になつた。もう二度原爆などを使つて戦争が起るのはいくはないと考えました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

この授業を勉強して広島におきた原爆のおそろしさがよく分かりました。原爆が爆発した時のそのあつさが、太およりも1000も高いなんて、おどろきました。

この授業をして、いまの生きが、より、ありがたく、感じられます。

広島市人口の約40%が死亡していて、5人に2人が死んでいるというのがおどろきでした。

爆発したあとの、きのこみたいな形の雲で爆発したときのしうげきがよく分かります。

原爆の候補になった若市で京若が一査おされていたという事を知ることができました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

アメリカが日本を爆撃はするために爆撃する場所をあらかじめ決めていたのはびっくりしたうえにひどいことだと思いました。原爆はとてつもない力だったんだなと義三の体験をもとにしてわかりました。また太陽が600m上ぐらいにあるぐらいの暑さなので考えられないけれどそのようなことが実際に起きていると思うとひどいなことだと思いました。兵隊さんに助けを求めてきた民間人はものすごく痛かったと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して<sup>じゅこう</sup>

表

原爆は人間の皮がけかれ、黄色い脂がたれ、内臓などの水分が全て蒸発されるという悲々たるものだと感じました。また、それを平気で人間におとして実食し、破砕力を測ろうとしたアメリカの学者や兵士は狂えていると感じました。人間は人間を傷つける事はいくらでも出来る人を簡単に殺し殺せる手段で居る生き物だと感じました。人を10m以上高さにはし、太陽を一時的に作り、3000°C以上の熱を地面に蒸発させる事のできる核子力爆弾のいけはまをいってしまいました。人はそれと戦うかしていきでいくものだとおぼろげに思っていました。人はくっついていふ人な色を作らざる事をするか、と感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゆうこうの特別授業を受講して

表

この授業を受けて原子爆弾について知ることができたことがたくさんありました。特に衝撃的だったのが、5人に2人の死んでしまうことと原子爆弾から出る熱線が太陽の表面温度より熱いことでした。また、一発の原子爆弾で約72%の被爆者約40%の死者が出ると考えると原子爆弾は恐ろしいんだと思いました。僕はなぜアメリカがこんな怖い原子爆弾を「小、中、大」と名付けてその疑問に思いました。原爆ドームはもともと広島県産業奨励館から取り壊されて、警備員も原子爆弾はこの授業を受けて恐ろしいし、破壊力もはつぐんと今までの分り分けた原子爆弾の恐ろしさに気付きました。またその體についても詳しく学びました。僕はこの授業が、無知な僕が原子爆弾について詳しく知ることができたので、もし、現地の人の気持ちも分らないままなら、たと思えます。僕は今の授業を覚えて未来の人にも伝えていこうと思います。



原爆先生の特別授業を<sup>じゅこう</sup>受講して

表

名前は裏面に記入してください

12/20

私は、原爆の話を聞いて、私の思っている以上に  
つらいに感じたんだと、感じました。爆心直下の温度  
が3~4000℃ということは、ふっふの火傷くらいに比べ  
られない程つらかったと思います。うでが皮が  
ズルッと落ちて、さけばすべかったのは、体中に  
かんかくが無く、苦しかったと思います。

トイレの中に居た人が目かかったのは、本当に奇  
訝だと思いました。当時のトイレは、強く作  
られていたのが、本当に良かったと思いました。

そして、私はあまり知らなかった原爆雲に  
ついてもしっかりと書いて、すぐ分かりやす  
かったです。現在もある原爆症は、原爆  
のひどさを伝えてくれると思います。死がこけ  
ごけに罰されると、火傷が体にさらけたいのが、  
気がかりました。

ですが、もし京都に原爆が落とされて  
いたら、人類の宝が燃えてしまい、大変なこと  
になっただんじやないかと思っております。





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

原爆先生の「義三さん」の話と一緒に原爆の落ちた地所や爆発した時の温度など細かく話してくれたのでとても分かりやすかったです。私は原爆のことについて少ししか知らなかったのがこのような授業があってよかったです。この授業の中で一番心に残ったことがありました。それは池田義三さんの実際の軌画の話です。特に展示されていた被爆者のさんこくな姿が「きれいすぎる」というところです。私から見たらこれでもすごくさんこくな姿だと思いました。池田義三さんの言葉におどろきました。池田義三さんは実際の被爆者たちを見た人なのでそれだけ人ではないくらい残った。たんだなと思いました。被爆者や池田義三さんたちのつらい思いに私もなしくなりました。改めてこのようなことは二度とあってはならないと思いました。原爆先生ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して<sup>じゅこう</sup>

表

名前は裏面に記入してください

先生のお話しの中で、人が入らないようにという写真の中では手がとけているものもあり、とてもおどきました。夏はすごく暑いですが、そのあついものではない熱いものが上からくる。自分にとってはきょうでしかないと思いました。

太陽よりも熱い7000℃の物が上からぶっってくるだけでもおそろしいが、その物が、200mからは自分なら何も考えられないと思いました。

原爆先生のお話しでさけび声をだして、その時実際にもさけび声を出している人はたくさんいると思いました。

広島市の人口35万人、被爆者24万人、死者数14万人で、5人に1人は亡くなっているの下それだけでも大変なことなのに、原爆先生がお話しをして、より大変な出来事だと感じられました。

今回の授業で戦争のおそろしさがわかりました。このようなことは忘れずに過心していきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、広島県の原爆のことを少し知っていますが、長崎・小倉にも原爆が落とされるなんて、知りませんでした。広島県の原爆が落ちたのは、同じくは、

8月6日ですが、8月15日は兄の誕生日なので兄も、広島県の原爆について調べてみましたか、知りなかったこともあるので兄に知らせようと思いました。

原爆の熱が100℃もあるなんてビックリです！約4人もあり、100℃もあり衝撃波の速さが毎秒440mもあるって、4トン落ちてきたら人がつぶれてしまうし、100℃でもいってしまえば人間の心臓がストップになるって、とても怖いです。

死者以外に4万人いたから、もう想像するだけでも怖いです。原爆を落とすのに3つの条件が必要なんて思いませんでした。あと原爆先生が原爆を落とす時の音を聞いた時のことを話してくれました。

このようなことを知って、もっと原爆のことについて調べてほしいなと思いました。広島県を教えたから、たのび、長崎県・小倉の方を調べてみたいです。兵隊の気持ちは苦しみると自分の命、人々の命がかかっていることを、もっと命を大切にしたい、生きていることに感謝したいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、この原爆先生の特別授業を受講して、原爆はものずこわくて、二度とあてはならないものだと改めて知りました。原爆のしょうけき波や、放射線、熱風などで、14万人もの人達がせなり、被爆者が24万人もの人達をたったの一回で出してしまふなんて、話を聞いていた私達と比べものにならないほど、こわかったし、助けを求めてもたれも助けてはくれないし、今にも死んでしまい、そんな状態で必死に助かる事を信じて、にけてきた先でも助かるか分からないそんなきょうふと不安が一気におしよせてきたのだらうと思いました。特にお話を聞いていてびっくりしたのは、外が鉄を簡単にとかしてしまうほどになり、人間の内臓にもあつさが届いて水分が蒸発して飛んでしまった、というお話です。想像することのできないのあつさだ、たのたのらうと思いました。他にも通常授業では、知ることのない貴重なお話を聞くことが出来て、良かったです。原子爆た人という名の人間達の欲が二度と空からふてくることのない平和な世界に少しずつ近づいていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

自分はもともと原爆のことについて、広島と長崎に落とされ、多くの方が亡くなったなどの簡単なことしか知りませんでした。けれど、今回の特別授業で、原爆が落とされたとき、どんな様子だったのか、原爆はどのくらい強いのかなどいろいろなことを知れました。今日、教えてもらった内容で一番おどろいたことは、原爆の表面温度が7000℃もあり、内側は100万℃であるということです。原爆の温度が高いことは、知っていたけれど、太陽よりも高いとは思わなかった。なので、とてもおどろきました。また、しょうけき波が音速より速かったことも、おどろきました。音が来る前にしょうけき波が来たら、急すぎて、何が起ったのか少しも理解できなかったと思うました。今回学んだことは、ほとんど知らなかった内容だったので、原爆のことについて前よりくわしくなれたと思います。けれど、まだまだ原爆のことについて知らないこともあるので、これから、自分で言語をたよりしてもっとくわしくなりたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

広島と長崎では大きな重傷をおおっている人がいて、生き残った人が少しかいながら、この原爆はそんなに恐ろしいものかんだなあということがわかりました。

広島と長崎だけでなくその2つの県のおおの付近も被害を多くおたということがわかりました。

4世のある原爆が巨大な空に巨大な雲ができるというおそろしさを学びました。4世もある原爆がB29という飛行機ではこぼるというのがおびいと思いました。4kmもはなれているのに時速300kmで家が燃えほうと落ちてゆくという恐ろしさを僕は知りませんでした。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は自分の中で原爆についてよく知っているつもりでした。しかし特別授業を受講してみてそれはちがうと、いうことがとてもよく分かりました。そして初めて他人事ではなく自分事のようにとらえられ、**恐怖**にふるえました。

私はもちろん被爆者ではありません。そのためやはり教科書を読むだけでは、怖いだろうかというくらい軽い気持ちで見下していました。しかし実際の写真やエピソードを視聴すると実際に自分が体験しているのかと思うくらいリアルに想像することができました。

原爆が落とされたのは今から約75年前です。もうすぐ実際の被爆者はいなくなります。そんな中で原爆先生のような原爆の話を語り継ぐ人がいることは人類が二度と同じあやまるをくり返さないことにつながります。改めて原爆の怖さを実感

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> [post@hiroshima9.com](mailto:post@hiroshima9.com)

するいい機会になりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して思ったこと  
 と、学んだ事が一つずつあります。まず学んだ事  
 は、原爆がばはした時の表面の温度は3000  
 ぐらいしかないと思っていたのに、本当は、7000  
 こともあるという事などいろいろな事が、この特  
 別授業を受講して分かりました。そして、  
 思ったことは、原爆先生が、小学校用の資料  
 などを作ってくれたおかげで、原爆の危  
 けんなじが、よく分かったので、ありがたい  
 です。次に、原爆先生の特別授業を受講し、  
 もっと知りたいと思った事は、原爆ドームでは、  
 どんな生物があるのか、もっとよく細かく見  
 え、知りたいと思いました。





名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

まず最初に、17歳のこの若さから、  
軍に出されるというのか。と、  
ものすごく、ほうげきもくらいました。  
そして、原爆先生演技がうまくて、  
最初の方の長い間まで、おんたごころか、  
すごくビビりました。話していた、お話も、すごく、  
表現がこわくて、おどろきましたか、大きな声と、  
お話は、私にとって、同じくらい、印象が、強い  
ものでした。そして、最後の5分間、実際に17歳の、  
人の動画を見ましたが、話していくうちに、  
つらい思い出が、よみがえってしまったのか、  
すごく悲しそうに、なみだをこらえてお話をしていた姿  
が、悲しく思えてきました。みんなの体を  
見るたびに、思い出すたびに、苦くなるんだと  
思いました。今回、くべつな、お話を聞いたこと、  
うれしかったです。こうしていろいろ、子供に  
伝えていってほしいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

「そもそも原爆の二つは、しては  
たけれど、こんなひどいとは  
思っていなくて、元安川の戸外のはなし  
で、こんなに川に飛こんだりいまは川  
の水がなくなるとかの話を聞いて  
じんこくを感傷になりました。  
あと、ビルの前の階だんにすわ、こ  
た人がいしんで消えたといっていた話で、  
くろいかげのしみが残っていった、  
という言葉で、え、とおどろきがありました。  
あと7000という温度とびっくりし  
ました。600mの地点でばく発したのに  
地上で3000℃に人々に暑ういから  
入ばみ人な燃けたといっていたので、怖  
いなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原子爆弾はとておそろしい  
なと思っ、たし原爆先生の貴重な授業  
が受けあてよかつたなと思ひました。先生が  
原爆投下のシーンをやっているときのドカー  
ンでしててもびっくりはした。本当の原爆の音  
は、もっと大きかったなと思ひました。人間  
の技術を使は、太陽より強いものが  
使えていざいと思つたけど、たくさんの人  
が死んでしまつたのなので使いたくないで  
す。アメリカは、効率的に日本をこおろくと  
していたので、考え方がとてもおそろしいと思  
ひました。ぼくは、戦争のない時代に生  
まれてきて本当によかつたと思ひました。戦  
争や核、原子爆弾は、絶対にやつてはい  
けないなと思ひました。原子爆弾について知  
れよかつたです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくが「一番心に残ったのは義三の父が  
原爆資料館で言った「きれいにする」ことだよ。  
何を「きれいにする」と言ったのか他人である  
ぼくが言うことではないのですか。  
その女性の顔が「きれい」なのではなく、  
火傷を全身に負って、いつ死ぬか  
わからない状態でも、痛みをこらえて  
助けをよめる精神に感動して「きれい」  
だと言ったのだ」とぼくなりに考察  
しています。ぼくはその女性のように、  
強い精神を持って行動したいと  
思います。そして、今日聞いた話が、  
今日聞いて思ったことは、これからの人  
の性格にとっても関わってくると思います。  
今日の話に自分の考えを付け加えた話を  
聞かせ、それをくり返してゆけば、  
資料に残されなかった人の気持ち  
も分かると思います。  
これをしっかりと心に留めて生活してまいります。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこウ

表

アメリカが原爆「リトルボーイ」を落とすのは  
 ひどい。(何万人がいたか)原爆先生は池田  
 義三の奥さんの話しをまるごと自分のように言て  
 いたし物知りや事かたです。実験してきたと言て  
 いたのでその実験場のためだけに何万人が死な  
 へ、日本がわかっていた。一発で14万人  
 が「さ」せあるし、たにさ、広島と長崎が「ひか  
 い」にあて、2つの県も(二つも)原爆を落して  
 い。アメリカです。人々か「やけ」がいて「さ」るし、  
 「まだ」か、ぬるん、と「まだ」か「さ」かれていたの  
 で3000近くをあひると「まだ」か「くろ」くた  
 へ「お」いと思いきや、た「だけ」み人なで「さ」し  
 ずったすけあていってすこと思いきや。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

12/20

原爆先生の特別授業を受講して、分かったことがたくさんあります。まづ一つ目は、広島に投下された原爆「リトルボーイ」についてです。どうしてかという、長さか3.2m、重さか4tもあることです。「リトルボーイ」は「小さい子」という意味なので、とても小さい、重いから名前が当てられていると思いました。二つ目は、原爆についてです。原爆は、地上600mの高さで爆発したということも分かりました。あと、原爆の中心の温度が100万という温度で、外側の温度が、太陽より熱い7000℃という高温だということも分かりました。

原爆先生は、太陽が近づいて来たのと同じように、いたのでとてもびっくりしました。三つ目は、原爆が落ちた時についてです。びっくりしたことは、原爆が落ちて、フレコ局の地下室のト化にいて、助かったということです。その人は、とても運がいいなと思います。四つ目は、雲についてです。キノコ型の雲（原爆が起きた時の雲）で、原爆雲ということをはじめで知りました。原爆先生の特別授業をして、とても原爆について、知りたいなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話を聞いて原火暴の時代は  
7000度の熱にたえて生きるとがんばっている人  
などがいたけれどおなごなりになっていて  
すごく悲しいけれど東兵士さんの話を聞いた  
ときに自分の弱さで手を指しおへることもでき  
ずにしてしまって5分のうらみでなみだをながして  
いたときにすごく心が重たかされました。  
それに3、4年生のころ国語でちいちゃんのかげおひ  
やたしが5年生にやった原火暴などで  
な、と月にしたことがあって原爆先生の  
話を聞いてすごくこわかった。それに正直  
ちよと意味が分からない所があった。しん  
でせけど例えは空気が赤色に変わった  
原火暴雲などがすごい原火暴だと思っ  
ました。原子爆弾でひがいにあった人が  
人口の約半分以上の人がお世にたて  
本当悲しいことがおきたと思っ  
た。けれど色々勉強してよかったです。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

特別授業を受講して思、たこと、それはやはり原爆のおそろしさです。そして、その原爆のおそろしさで一番しょうげきた、たのは原爆のいカです。中心温度が100万℃になる。

原爆が爆発してできた球体の外周でさえ7000℃。そして、その真下から直径500mほどのはくいで3000℃。普段、夏の気温で30℃を走ったただけで暑いとい、ている自分には、想像もつきません。そして、そのような状況の中、もがき苦しみ、泣きさげんでいた人が大勢いた。そのようなことを聞くだけで身ぶるいしてまいます。

また、池田義三の見た現実、これを原爆先生がなりき、て、話す姿やその声色。これを見てはくには原爆先生の原爆に反対する気持ちがる強く伝わ、てきました。

そして、この授業を受けて、原爆のひ卑を受けが元気がはく違、これ、この原爆について語の継がなければいけないと考じました。





名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私は、原爆先生のお話を聞いて、原爆の大変さや、おそろしさがとても頭に残りました。特に、広島に投下された「原爆リトルボーイ」について興味がありました。あんなに小さいものが、広島を一瞬で焼き付けた。川が「あごいなあ」と思いました。あの一瞬で、広島市人口(35万人)の中、14万人の死者が出ました。原爆は、衝撃波などを起し、人々に大きなぬいぐるみが掛ります。そのことをふまえて、私は、二度と、原爆のない平和の世界を目指します。そして、原爆の勉強をして、人を助ける仕事に繋がりたいと思いました。そして、原爆ドームなどを一度見てみたいと思いました。人は、どのように暮らしているのが気になったからです。

原爆は、うそで、人々の命をうばいます。そのことについて、私の心の中にいつまでも、残っているでしょう。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12/20

私は、広島や長崎の原爆について、原爆ドームのこととたくさんの人々が亡くなってしまうことくらいしか知りませんでした。今日の原爆先生の話を聞いて、一番おどろいたことは、原爆の中心温度が100万°C、外側の温度は、7000°Cということ。太陽よりも熱いといっていて、太陽よりも熱いもの、で、この世にあるんだなめと思いました。もう一つあって、それは原爆が落とされる都市のこうほになった横浜、新潟、京都のことです。もし、横浜に落とされたら、東京に近いので、亡くなってしまう人がより177かっただのかなめなと思いました。この原爆で亡くなった人の数は、14万人で、このうちの2万人は、一瞬で亡くなってしまう、としても見てつらかったです。もう二度とこんな世の中にならほしくないな

改めて感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

12/20

川の水も蒸発して肉が見えちゃうほどの  
原爆の衝撃波の威力はものすごく、大があつ  
かていいものではないと実感しました。

重要な文化財がそろい、日本の文化の象徴  
ともいえる京都に原爆が投下されずによか  
たとは思えない程、広島への影響は大きく、  
とても悲しいです。

広島に原爆投下は、原爆投下の影響  
を伝えるために、残すべきだと思います。

救いたければ救えないものか、は、  
理解しきれないほど悲しく、川が死体ど  
うまるほど、人が死んでしまうほどの、原爆投下  
を伝えていくべきだと思います。

義三さんの経験はとても貴重なものだし、  
日本の経験として、大事にしていくべき  
だと思います。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、先生の話を聞いて思ったことは、  
これまでまったく原爆のことについて、  
考えたことはありませんでした。たしかに  
テレビなどで、「この日、広島で原爆が……」  
などしが聞いたこともないし、それにその内容  
もとくに頭に入っていませんでした。  
今日、先生の話を聞いて B29 爆撃機  
エノラ・ゲイ などの名前や原子爆弾投下  
都市の条件など、ふつうでは知ることの  
できない情報を教えてくれました。  
音や説明を受けてもとてもこわかったです。  
しかし実体験者にしか分からないことも  
あるのでそれを語る人がいなくなってきた  
とんだいになている理由がよく分かりました。  
ぼくも、これから先生が聞いたことは、ちゃんと  
頭にいれておいて原爆のことについておぼえて  
おくようにしたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業を受講して、私は原爆についてあまり知らなかったけど、今回の授業でたくさん知ることができました。池田義三さんの体験について話を聞いて、原爆がどのほど大変だったのか知ることができました。トラックに被爆者を乗せようとして、手をとったら、ひじがはがれたという話を聞いて、想像するだけでも、ゾワッとするのに、それを実際に体験したら、大変だなと思います。それと、亡くなった人をおんぶしてはこうという作業は私だったら、にげたしてしまおうと思うけれど、義三さんたちはあきらめなさいやっていますよねと思います。特別授業で資料を見ながら説明して、原爆は7000℃もあって太陽は6000℃なのにあらためてすごい原爆だったんだなと思います。衝撃波や放射線などやけどだけでもなく他のことでもたくさんの方が亡くなって、大変だったということは、これからいろいろな人に伝えていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生<sup>じゅこう</sup>の特別授業を受講して

表

私は、原爆くの話を知り、戦争はしてはいけないと改めて感じました。また、被爆した時の苦しさや元安川での作業の辛さの事も聞きましたが、実際に原爆くを体験した方にと、では言葉では伝わりないほどの苦痛だったと思います。原爆くの爆撃波が音速より速かったという事から、広島に落とされた原爆くが、ものすごい力だったという事がとてもよく伝わってきました。

私は、「7000°の少年」というのは、原爆くのことを指しているんだと考えました。原爆くの名前が「リトルボーイ」だった事と、原爆くの表面部分が7000°だった事からです。そして、私は「原爆く病」の事は全く知りませんでした。原爆くは、落とされた時にたくさんの人や物に危害をあたえるだけでなく、その後も人々を苦しめるので、本当に怖くてはいけないと思いました。この事を、ずっと忘れないうために、色々な人に伝えて、同じことが二度と起こらないうようにしたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/20

私はこの授業を聞いて、原子爆弾のおそろしさを知りました。その時代にはないので、7000℃と聞いては、あまりイメージをすることはできなかったけれど、どれだけかわかたのかは、すぐく伝わりました。原爆先生のはくは、音でもとつぜんの音でかわかたのに、実際はどれだけかわくおそろしいのが考えただけでかわくなりました。「7000℃の少年」という本の題名の意味も知ることができました。

話の途中で、あした、18才の姉と10才の弟は2人とも、ずいぶん勇気があり、とても強いな、と思いました。姉は、なみだを流さず、弟に心配をかけないようにしているところが、強くて、やさしく、かこいい、と思いました。また、弟の方は、熱くて、暗くて、こわい街を一人で、姉を助けるために、助けを求めているのが、勇気がある、と思いました。

そして、原爆資料館を見て回っていた、義三の気持ちになんとか分かった気がしました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/20

私はこの原爆先生の特別授業を受講して、まるで自分が今実際に広島にいたような気持ちになりました。爆発の時の音や爆発する前の「ヒューッ」といった音もきんちょう感があり、自分が義三達になった気分でした。被爆者に助けを求め、義三達が助けようとしても、助けられなかった義三達の気持ちを考えると本当に胸がぐしくなりました。

御幸橋前で出会った男の子と17・8歳くらいの女性の話の所は、17・8歳くらいであれほどのきずの痛みをこらえていたのは本当にすごい女性だなと思いました。女性をおぶった時に温かさを背中に感じた時は、義三は心の底からうれしく思ったのだろうと思いました。最後に義三が原爆資料館へ行き、被爆者の女性の人形を見た時一言だけ「きれいすぎる」と言ったのが、義三が今まで体験した事がどれほど辛い思いをしたのかが分かりました。

今回の学習で原爆の危険さを改めて知ることができました。今回学んだことを忘れずに生活していきたいです。





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくがこの原爆先生の特別授業を受講して原爆のおそろしさが今までよりも分かりました。原爆が投下されるのは、まったく分かりずらにすることが出来るという言葉のおそろしいと思いました。そして爆発した所からはなれていても約3000メートルにもなるとして、建物もほとんどくずれてしまふと聞いて原爆がどれだけの力なのか分かりました。そして原爆で人の肌が赤くなり水分がなくなってしまうと言うことで、どれだけの苦痛かが想像できない位原爆が人にいさよをあたえると言うことが分かりました。そして放射線や放射能で後にも苦しむ人がたくさんいることを今回の特別授業で聞いて原爆は後にもいさよを与えるのたぞ、と思いました。原爆の投下された広島市の人口が35万人で被爆者数が24万人その中の14万人が亡くなってしまい死亡率が40%とあって広島の人一人一人が亡くなったと知りおどろきました。原爆のおそろしさを忘れないために後の人に伝えていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今まで、日本がアメリカと戦争をして、満州事変、日中戦争、真珠湾攻撃、ミッドウェイ海戦、沖縄上陸、東京大空襲、そして広島と長崎への原爆の投下、ポツダム宣言受諾などの出来事があったことは知っていました。原爆先生の特別授業を受けて、原爆の投下によってこれまで被害を受けることを初めて知りました。

また、原爆先生の特別授業を受講して、原子爆弾を投下する候補地のうち、小倉にはなぜ原子爆弾が投下されなかったのか気が付きました。そして、京都に原子爆弾が投下されなくて、本が良かったと思われました。京都には、重要な建物、文化遺産などがあり、それを原子爆弾によって壊れなかったことが本が良かったと思われました。また、候補として挙がっていた横浜に原子爆弾が投下されなくて良かったと思われました。横浜は東京に近く、人口が多いので、より被害が大きくなるのではなかったかと思いましたが、二人は被害が大きかった原子爆弾を落としたアメリカの悪いことだと思いましたが、戦争をしかけたのは日本なので、日本が悪いと思われました。なので、日本はもう二度と戦争を起さないようにしなければいけないと思われました。

19  
x 0.8  
15.2

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> [post@hiroshima9.com](mailto:post@hiroshima9.com)

19 x 0.8 = 15.2 行



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

普段聞くことのできない貴重なお話を聞きました。資料を用いて、原子火暴弾について勉強することができました。今まで生活していて、国語で勉強したことや見聞きたことで、なんとなくこんなのだろうなと思っていました。しかし、お話を聞くうちに想像をこえたことをおぼやしてしまいました。原爆は、爆発させて、炎や暴風で飛ばすものだと思っていました。しかし、熱線や放射線、衝撃波を出し、起こすことも分かりました。お話の中で最もおどろいたことは、原爆の温度が7000と太陽の表面温度をこえることに最もおどろきました。7000℃になることを知ったばかりは、原爆がどれだけの力をあがためて実感しました。世界唯一の被爆国である日本に生まれたからこそ、このことを日本だけでなく、世界中の人々に原子火暴弾のひびきと、どれだけやてはいけなしいとまのかを伝えることが、大事なのかなと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆の話を知ってこんなにも悲しくて切ない事が昔にあったな...と思いました。原爆先生の話を聞いていると本当にその場にいるみたいで「けっけい怖かったです。原爆を受けた被爆者が広島市人口の35万人中、24万人もいる事におどろきました...。被爆者の気持ちを考えると言葉にできないくらいの痛みがあったんだろうな...と思います。もし被爆者の立場になったら...と思うとむねが痛いのです。原爆が7000ともあって太陽よりも熱いものが落ちてくると考えただけで鳥はだです。7000との少年の主人公が見た人間のむねは一生のトラウマになるんだろうな...と思いました。最後のよしぞうさんのビデオで「中なみだ」を流している所にむねが痛みました。昔の原爆の風景を思い出したんだろうな...と思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/20

原爆は広島市の人口35万人の40% (15人に2人が) 死  
 んでしまいました。ほんとはこんな物を作った理由はたぶん  
 日本をしいりかしようという理由だと思えます。やはり  
 人間はよくほうにあがっていると思いました。ほんとは自分  
 ようほうのために他の国<sup>ほそ</sup>の人の気持をなや  
 どろむいいのたごうなと思った。兵器一つで日  
 本をゴッまじ絶望させてしまうなとおそろい  
 物だと思わすは、なにも関係もない  
 人がまきこまれるのはとてもかあしくうた...と思  
 いました。もし生きのびてもう木にならせいの  
 白くもが... なんか入るととても強まて危険  
 すまいる兵器だと思いましたが、単に争いの  
 ような兵器は、幸せになる事か... 一つた  
 ので、単に争いにならなうよかたと思つたいま  
 原爆か... 急にうてまら、思いうとるうとお  
 思った。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12/20

原爆先生の特別授業を受講して、原爆のおそろいを改めて実感しました。この授業を受講す前までは人々の死因や、どれほどおそろいものなのか知りませんでした。たった一つの原爆で大勢の人が苦しめ、亡くなったと考えると、原爆はおそろいものです。

死にそうになっている人々や、灰色になった町を見る兵隊の人達も、とてもつらいと思います。亡くなった人を運ぶのも、罪悪感があったと思います。

原爆の熱さや、衝撃波の速さなどを知らずにはおどろきました。まさか、原爆が太陽よりも熱いなんて、知ったことも、聞いたこともありませんでした。

この学習で原爆についてたくさん学びました。

この学習を通じて原爆について、もっと詳しく知りたいと思いました。